

市民外環問題ニュース 外環道路問題Q & A

Q 「住民投票」はどうなったの？

A. 外環道路「住民投票」請求の署名総数は、1万1221名（有効1万316筆）に及びました。それを3/29三鷹市議会は否決しました。しかし、その同じ日に市議会は「（外環は）三鷹のまちづくりの将来像を大きく左右する」ため「全市的規模での活発な議論」を市に要望しました。三鷹市長も「外環が三鷹へ与える影響は極めて大きい」とし、「事業着手を容認するわけではない」としています。外環道路は三鷹の未来を危うくする大問題です。私たちはこの問題について民主的で開かれた説明会の開催を、国、都及び三鷹市に求めています。市民の手で問題解決への道筋をきりひらいていきます。

Q 外環道路計画の重大な問題点は？

A. 水・空気・土・緑・命。生きる基盤が脅かされようとしています。この大規模事業計画は、三鷹の自然環境、生活環境を一変させ、安全や健康を脅かし、歴史・伝統の存続をも左右します。

1. 大気汚染深刻化の不安

……換気塔からの高濃度排気ガス

1日10万台通る地下道路トンネルの換気塔は膨大な排気ガスを排出。三鷹市全域に拡散・滞留・吹き下ろされます。さらにインターチェンジから流出する車の排気ガスが加わり、大気汚染の悪化が心配です。

2. 地下水の枯渇・汚染

……三鷹の水道水は60%を地下水に依存

1.6Kmに及ぶ地下トンネルが次々と帯水層を破り地下水の枯渇や汚濁が心配です。地下水変動による地盤の隆起・沈下・陥没も心配です。住宅地の直下にこれほど長いトンネルを掘る計画は他に例がなく何が起こるかわかりません。しかも大深度=地上権が及ばないので、補償はありません。

3. 生活環境の寸断・車公害の増大

……インターチェンジ、地上道路の影響

インターチェンジからの車が増えたため市内各域に「外環ノ2」などの地上道路網が計画されています。私たちの生活環境が巨大道路で分断され、車に怯えて暮らすことが心配です。三鷹を「通過交通の町」としていいのでしょうか。立ち退きによる農地・緑地の消滅も心配です。

4. CO₂削減？ 本当でしょうか。

……便利さが環境破壊につながりませんか？

外環道路建設の目的は都心部の渋滞解消とCO₂削減とのことです。しかし、誘発交通量が新たな渋滞を生み、結局CO₂を増やすともいわれています。

10年余り続く工事でも多大なCO₂が発生します。

5. 事業費1兆3500億円

……他に使うべきことがあるのでは？

戦後60年、耐用年数を経過した道路、橋梁、公共施設などの老朽化が顕著で、更新時期が迫り、維持管理も十分にできていません。外環道路建設よりも優先すべき課題が山積みしているのでは？

Q 今、外環道路計画はどうなっているの？

A. 外環道路計画[練馬-三鷹-世田谷間]は1966年計画されましたが、地元住民・地元自治体の激しい反対により、1970年建設大臣が「凍結宣言」。長らく計画は止まっています。

しかし近年、計画を地下トンネルに変更する案が浮上。その都市計画変更手続きに対して、今春、三鷹市は「条件付きで同意」しました。

しかしここで「外環道路計画の事業着手」を容認したわけではありません。

現在、事業化の是非について、国で審議する段階に入っていますが、都及び国は「環境への影響が大きいと判断した場合は、計画を止めることもあり得る」としています。

三鷹市は東京都に対して「最大限慎重な取り組み」を要望しました。私たちは、行政・議会に働きかけ、話し合いを希望しています。

三鷹市以外でも、杉並区では青梅街道インターチェンジの導入を拒否、武蔵野市は「外環ノ2」に反対を表明、練馬区では住民によるインターチェンジの運動が行われています。他地区・他団体とも連携し、問題の解決をめざします。



みんなの声をお寄せ下さい。 FAX 0422-47-9778
よろしければお名前をお書き下さい。 氏名